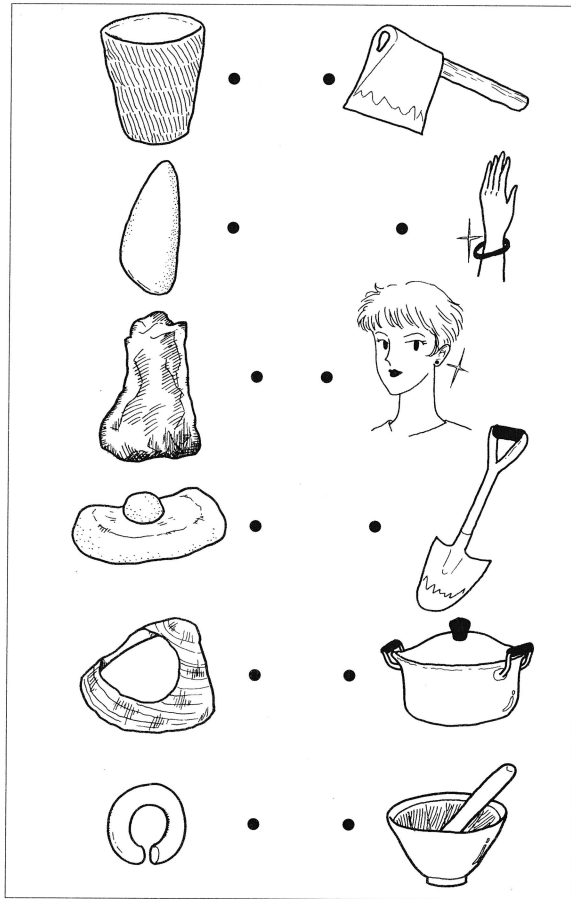


Q&A5. 道具の変化と交流こうりゅう



じょうもんじだい
Q: 縄文時代の道具が、現代の
どの道具にあてはまるのかな?



はかせ
博士: 『道具の形とその使いみちをよ〜く考えてみることじゃ。君たちなら何に使う?』

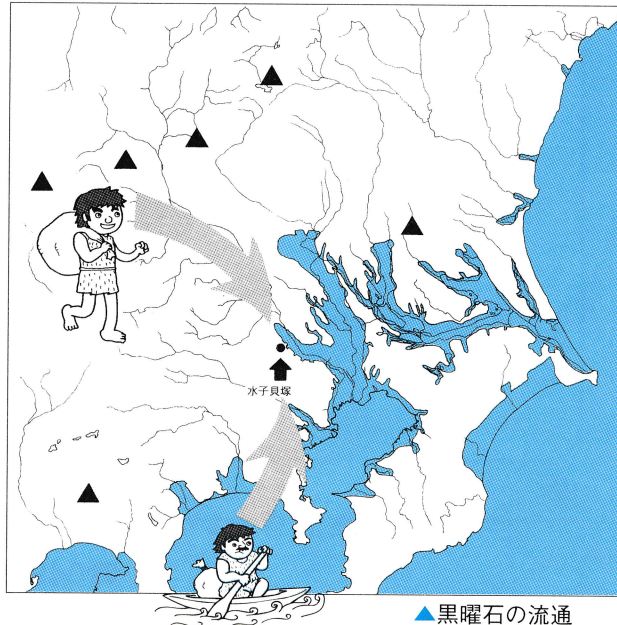
モリ&カヤ: 『う〜ん!』



★水子貝塚で行われた交流みずこかいづか こうりゅう

水子貝塚みずこかいづかで使われた道具の中には、富士見市では採れないものもあります。例えば、石器せっきなどに利用される石材せきざいがそうです。石材せきざいはつくられる石器せっきの種類しゅるいによって向き不向きがあるため、近くで採れない石材せきざいでつくる石器せっきは、遠くから製品あるいは原石げんせきのままの形で運びこまれました。

石鏃せきぞく（石の矢じり）などに使われる黒曜石こくようせきは、科学的な分析の結果、和田峠わだとうげ（長野県）・霧ヶ峰きりがみね（長野県）・神津島こうづしま（伊豆諸島）の3カ所の産地さんちのものとなりました。このことは、水子貝塚みずこかいづかと他の地域ちいきとの間こうりゅうに人や物の交流があったことを教えてくれています。



▲黒曜石の流通